

# 関西哲学会第70回大会プログラム

日時 2017年10月21日(土)、22日(日)  
場所 大阪体育大学 L号館  
L201教室(A会場) L301教室(B会場)

第1日目: 2017年10月21日(土)

## 個人研究発表

1 10:00-10:45

A スピノザの反・共感論 ——ニューロサイエンスで『エチカ』を読む  
柴田健志(鹿児島大学)  
司会 上野修(大阪大学)

B ホワイトヘッドにおける理性と美学  
有村直輝(立命館大学)  
司会 伊藤邦武(龍谷大学)

2 10:50-11:35

A スピノザにおける感情と生理学  
立花達也(大阪大学)  
司会 松田毅(神戸大学)

B ラッセルの命題論とブラッドリーの判断論  
伊藤遼(セントアンドリュース大学)  
司会 中山康雄(大阪大学)

3 11:40-12:25

A 永遠性と持続 ——スピノザ『エチカ』における本質の定位  
藤野幸彦(大阪大学)  
司会 松田克進(龍谷大学)

B 日々の仕事の中での哲学  
菊地建至(金沢医科大学)  
司会 丸山徳次(龍谷大学)

編集委員会 12:30-13:30

## 個人研究発表

4 13:35-14:20

A ショーペンハウアーの同情 (Mitleid) 概念

——その妥当性と現代性について

鬼頭葉子 (長野工業高等専門学校)

司会 須藤訓任 (大阪大学)

B 信仰と瞬間 ——ハイデガーのアウグスティヌス解釈について

君嶋泰明 (京都産業大学)

司会 日下部吉信 (立命館大学)

5 14:40-15:25

A ショーペンハウアーと自然美

鳥越覚生 (京都大学)

司会 井上克人 (関西大学)

B パースの存在グラフにかんするシンの議論

佐々木崇 (関西大学)

司会 新茂之 (同志社大学)

共同討議 15:30-17:30 (A会場)

「カントをめぐる」

千葉清史 (早稲田大学) 富田恭彦 (京都大学)

司会 出口康夫 (京都大学)

懇親会 18:00-

第2日目 : 2017年10月22日 (日)

## 個人研究発表

1 10:00-10:45

A 観念のコピー性の再検討 ——ヒュームの「類似」と観念説をめぐる

豊川祥隆 (京都大学)

司会 久米暁 (関西学院大学)

B 『善の研究』の体系性

佐野之人 (山口大学)

司会 岡田勝明 (姫路獨協大学)

2 10:50-11:35

A 時間芸術としての音楽における内的主観性の自己形成

中川玲子（同志社大学）

司会 竹島あゆみ（岡山大学）

B 反表象的自然主義としてのネオ・プラグマティズム

朱喜哲（大阪大学）

司会 中畑正志（京都大学）

3 11:40-12:25

A アウグスティヌスとフッサール

柳川耕平（立命館大学）

司会 佐藤義之（京都大学）

B 初期ドゥルーズを読み直す —— 『経験論と主体性』を中心に

得能想平（大阪大学）

司会 加國尚志（立命館大学）

委員会 12:30-13:30

個人研究発表

4 13:35-14:20

A プルタルコス動物関連著作における徳性の役割について

中村健（大阪体育大学）

司会 金山弥平（名古屋大学）

B 法制定者の言語行為と法文の意味

早瀬勝明（甲南大学）

司会 石崎嘉彦（大和大学）

総会 14:35-15:05（A会場）

ワークショップ 15:10-17:40

A これまでの哲学教育、これからの哲学教育

渡邊浩一（大阪経済法科大学）

宗像恵（京都産業大学）

浜渦辰二（大阪大学）

司会 田中一孝（桜美林大学）

B 一元論の多様な転回 —— 一元論に関する現代の議論を受けて

雪本泰司（大阪大学）

太田匡洋（京都大学）

立花達也（大阪大学）

司会 小山虎（大阪大学）